

議 事 概 要

- ・ 7月10日の委員協議会において、次回は委員会を開会し、課題の認識合わせ及び参考人の人選等を行いたいと発言したが、委員の日程が合わなかったため、代表者会議に変更し本日開会となった。

◎ 今後の所管事務調査の進め方について

1 理事者の説明を踏まえた課題の認識合わせ

維新：観光…観光客が一点に集中する傾向がある。

今後、オーバーツーリズムが問題となる可能性を考えると、スーツケース専用車両のような制度を取り入れたい。

宿泊税の上限は上げるべき。

外国人観光客からの徴収税を創設し、インバウンドの問題に対して早い段階から対応できるようにしておくべき。

スマートシティ…ORDENは現状、横連携が十分でなく、なぜ進まないのかマイナス面を究明する必要がある。

大阪市が参画していないことが一番の問題。

公明：観光…オーバーツーリズムに加え、観光客がキタ・ミナミに集中しがち。

他の魅力ある場所へ分散させるために何か提案したい。

宿泊税の用途を考えるべき。

自民：観光…来阪者の周遊が府内全体に行き届いていない。

ガストロノミーツーリズムの実証実験の結論が見えていない。

宿泊税についての議論が進んでいるが、円安の波に乗れるよう、できる限り速やかに結論を出し、観光客の受入環境整備に回してほしい。

歴史・文化遺産に広く活用するメニューを準備し、魅力ある大阪にするため、宿泊税を上げるべき。

- ・ オーバーツーリズム、周遊観光、宿泊税の活用、ORDENの横連携を課題として整理。

2 参考人の人選

- ・ 整理した課題に関する参考人の推薦について、各会派意見聴取。

維新：観光…観光客の負担と地域への還元などについて研究をされている学識経験者。

外国人観光客への日本のPRについて詳しい外国人。

観光客のスーツケースの運送について、鉄道事業者や荷物配送事業者。

スマートシティ…DX化に詳しい方。

ORDENに参加、不参加の自治体職員。

公明：観光…オーバーツーリズムについて、研究をされている学識経験者。

ツーリストシップの取組をされている方。

自民：観光…全国のDMOでの活動や、他の自治体で宿泊税の検討をされているコンサルタント。

府内周遊や利用客の移動の観点から、鉄道事業者。

3 調査スケジュール

- 各委員の日程調整が難しかったことを踏まえ、スケジュールのイメージを共有。
- 今後、参考人からの意見聴取及び質疑を行う委員会を2～3回、提言等を検討するための委員間討議を行う委員会を2回程度、提言等のまとめ方を決定する委員会を2回程度行う必要あり。
- 可能であれば、予算案が固まる2月定例会前に申入れ又は提言を手交したいので、速やかな調査ができるよう、協力と各委員への周知を依頼。
- 9月定例会の知事質問日の10月15日及び決算の委員協議会がある10月22日に所管事務調査の委員会を開会したい。
- 日程調整の結果は事務局を通じて周知する。